

このコンサートは、東日本大震災で被災した東北支援の一環として私たち未来・連福プロジェクトが毎年夏に

約100名の皆さんをお迎えする、「東北の子供たちを鎌倉にご招待！

建長寺で会いましょう！」を実施するためのチャリティーコンサートです。

初めての出演となる吉田絵奈さんは愛知県出身の鍵盤ハーモニカ奏者で、

被災地の岩手県陸前高田市でもコンサートを行うなど、鍵盤ハーモニカと

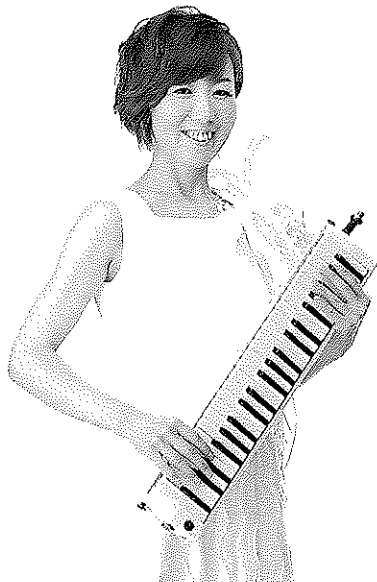
音楽を通じて被災地に元気を届けたいと全国でコンサート活動を行っています。

今回の未来・連福チャリティーコンサートにも参加して下さることになりました。



<出演者プロフィール>

吉田絵奈(よしだえな) / 鍵盤ハーモニカ奏者



愛知県生まれ。名古屋音楽大学ピアノ専攻卒業。現在鍵盤ハーモニカ奏者の第一人者として各地で活躍、注目を集めている。「生で聴くのだめカンタービレ」の全国ツアーに参加。東京フィルハーモニー交響楽団など主要なオーケストラに、鍵盤ハーモニカによる協奏曲などで客演。東海テレビ「夢のちから」に出演。「メロディオンフェスティバル」、宮川彬良作曲の歌劇「あしたの瞳」「24時間TV」ラ・フォル・ジュルネ・ジャポン2016等の音楽祭に出演。クラシック、タンゴなど幅広いジャンルをレパートリーとして、鍵盤ハーモニカの可能性と新たな世界を追求し、全国各地で積極的な演奏活動を行っている。

CDに「NUKUMORI」「DANCE SHOWER classically」がある。

2017年8月にはNEWアルバム「Spiral」を発売。

現在、名古屋観光特命大使を務めている。

ナターシャ・グジー / 歌手・バンドゥーラ奏者

ウクライナ生まれ。ナターシャ6歳のとき、1986年4月26日未明に父親が勤務していたチェルノブイリ原発で爆発事故が発生し、原発からわずか3.5キロで被曝した。その後、避難生活で各地を転々とし、キエフ市に移住する。ウクライナの民族楽器バンドゥーラの音色に魅せられ、8歳の頃より音楽学校で専門課程に学ぶ。1996年・98年救援団体の招きで民族音楽団のメンバーとして2度来日し、全国で救援公演を行う。2000年より日本語学校で学びながら日本での本格的な音楽活動を開始。その美しく透明な水晶の歌声と哀愁を帯びたバンドゥーラの可憐な響きは、日本で多くの人々を魅了している。

2005年7月、ウクライナ大統領訪日の際、首相官邸での夕食会に招待され、演奏を披露。2016年7月、これまでの活動が評価され、外務大臣表彰を受ける。コンサート、ライブ活動に加え、音楽教室、学校での国際理解教室やテレビ・ラジオなど多方面で活躍しており、その活動は教科書にも取り上げられている。

■公式ホームページ：<http://www.office-zirka.com/>



撮影：広河隆一

チケットお申込：090-3689-8011 (齊藤)

東北支援にご協力くださる皆様方へ

未来・連福プロジェクト
代表 齊藤美代子

福島原発災害は終わっていない！
チャリティーコンサートにご協力ください

東日本大震災からまもなく7年。あの原発事故で被災した方々の苦闘はまだ終わっていません。

福島原発事故現場に近い富岡町。避難指示が解除された土地の面積は海岸から離れた地域を中心に全体の85%になりました。しかし、町に帰って生活する人はわずか400人で、今なお、避難生活を続けている人は福島県内でおよそ12,000人、県外で3,000人にのぼるということです。避難指示が解除されると、公的な支援はだんだん薄くなっていきます。富岡町の皆さんにお話を聞いても不安は募るばかりのようです。

あの震災の直後から、私達に出来る支援活動をしていこうと「未来・連福プロジェクト」を、立ち上げ活動を続けて参りました。今年で8回目となります「東北の皆様を鎌倉にご招待！建長寺で会いましょう」は、富岡町の皆様を中心に双葉郡の皆様方100名を、お招きして、建長寺に合宿しながら、八幡宮、円覚寺、高德院、雪の下カトリック教会、江ノ島水族館等を巡り、心の安らぐ数日間を過ごしていただく予定です。

その資金を集めるためのチャリティーコンサート、今回は陸田高田の被災松で作られた鍵盤ハーモニカで演奏をしてくださる吉田絵奈さんと、ベース奏者の藤谷一郎さんが、ウクライナの歌姫こと、ナターシャ・グジーさんとともにご出演いただくことになりました。吉田さんは音楽を通じて被災地に元気を届けたいと全国各地でコンサートを続けておられます。

また、東京フィルハーモニー交響楽団への客演、ロシアにてサンクトペテルブルグフィルハーモニー交響楽団のメンバーによる演奏会への客演等で幅広い活動が今話題となっております。一方、ナターシャさんは、チェルノブイリの原発事故を体験した思いをのせて毎回、水晶のような澄み切った歌声を聞かせてくださり、日本全国の多くのファンを魅了しております。

お二人のご協力により、心に残る豊かなコンサートになると思います。コンサートに参加する形で、福島心の復興支援に是非ともご協力をお願い申し上げます。